

神奈川県におけるモニタリングと計画への反映 ～ニホンジカ管理計画の実施状況～

神奈川県自然環境保全センター野生生物課 永田幸志

1 神奈川県におけるシカ管理事業

現在、神奈川県では、第4次ニホンジカ管理計画に基づく取組が連携して進めている。シカ管理計画では、シカの影響に応じて丹沢山地が3つのエリアにゾーニングされており、各エリアの管理目標に応じて、県、市町村等の関係機関連携のもと、個体数調整、生息環境管理、被害防除対策により取組が進められている。

2 モニタリング内容（主なもの）

項目	内容	調査箇所・時期等	場所選定基準	
個体群 状況等	分布	目撃情報の収集等	県内全域【通年】	任意
	生息 状況等	生息密度（区画法）	主として保護管理区域【晩秋～冬季】	管理ユニット
		糞塊密度	計画対象区域全域【晩秋】	ハンターメッシュ
		捕獲効率・目撃効率	捕獲実施時等による情報収集	管理ユニット
		行動域	水源林等【GPS装着完了後通年】	整備地等
		捕獲個体からのサンプル採取	捕獲地	任意
	個体群動態の推計	密度（区画法・糞塊法）結果と捕獲数から推計	—	
生息環境への影響	植生へ	植生定点	自然林【夏季】	管理ユニット
		植生劣化度調査	保護管理区域【夏季】	主要尾根線

3 モニタリングの計画への反映

内容	把握内容	計画への反映等
目撃情報の収集等	分布拡大状況の把握	計画対象区域の検討
生息密度（区画法）	<ul style="list-style-type: none"> 対策実施前の状況 対策の効果 	<ul style="list-style-type: none"> 目標設定（達成状況） 対策の効果検証 対策の手法 対策の強度 対策優先地の選択
糞塊密度		
捕獲効率		
目撃効率		
個体群動態の推計		
植生定点	個体群の状態	<ul style="list-style-type: none"> 対策強度
水源林植生定点		
植生劣化度踏査		
捕獲個体からの試料採取	行動特性	<ul style="list-style-type: none"> 対策の手法 隣接都県との連携
行動域		